投票番号
19

沼津「人」ポートレート
～まちを愉しむ人たちの「素顔」を綴るプロジェクト～

- 沼津での生活を愉しんでいる「人」に焦点を当て、「日常の愉しみ」「今、熱中していること」「日常で大切にしている価値観」を取材します
- その「人」の雰囲気が感じられるようなカジュアルな文章と写真で 沼津の「人」を可視化し、発信＆蓄積します

いつも行く店の人、私と同じことに興味を持っている。今度話しかけてみよう！

仕事で会うこの人、実はこんなこんな趣味があるんだ！

そんなきっかけで沼津に移住したんだ～！

事業のねらい

- 「〝沼津の人〞〝沼津での生活〞の新たな発見」と「コミュニケーションの種」を、「沼津に暮らす人」「沼津への旅行者」「移住先を探している人」達に提供
- 移住検討者が沼津の人達の魅力や生活を知ることで、心理的ハードルが低下する
- 市民同士や市民と地域外に住む人達、関係人口が刺激をしあうことで、沼津の魅力が更に醸成されていく
- 地域の人的資源の蓄積。特に高齢により消えてしまう想いを残していく

第２号様式

事　業　計　画　書

事　　業　　名	沼津「人」ポートレート ～まちを愉しむ人たちの「素顔」を綴る　市民巻き込み型プロジェクト～
実　施　場　所	取材地（被取材者ごと異なる）　作業地：(株)和多仁・自宅
実施予定期間	２０２６年4月13日　～　２０２７年3月３１日

◎事業概要

※事業の概要を 100～200 字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。

・沼津には生活を愉しんでいる人が大勢います。当事業では、ビジネスで成功した人・肩書きのある人から取り上げるということではなく、沼津で生活する 「人」に焦点を当て、「沼津での暮らしぶりや日常の愉しみ」「今、熱中していること」「日常で大切にしている価値観」を取材し、SNS に慣れている人達にも読みやすいカジュアルな文章と写真により可視化、発信していきます。

・次年度以降も継続的な取組として、「沼津で暮らす人」「移住者」「今日の沼津の礎となった人」といった人的資源を発信することで地域コミュニケーション活性を促進します。
　特に「今日の沼津の礎になった方々」には、「子や孫たちに残したい沼津」をお伺いしカジュアルな文章で表現することで、想いを次世代へ想いを繋ぎます。こうした高齢生活者の想いも、記録として蓄積され残すことができます。

◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。

・**課題：** 沼津には魅力的な店や活動があり、事業内容や取り組みを中心に紹介されているが生活者である「沼津の人」個人の魅力（沼津での暮らしの楽しみや、日々大事にしていること、仕事以外での取組みなど）に焦点を当てた発信を増やしたい。

・**解決法：** 「インタビューと執筆」と「写真」により、日常生活の奥にある「人としての魅力」を可視化し、発信し、蓄積する。
　写真はポートレートと、その人の興味や熱中していること・仕事以外での活動・趣味など、その人を表す要素を撮影。文章は、SNS で読みやすい文章量とカジュアルでリズムのある文体で、取材対象の話し方や人柄を表すニュアンスを反映したものにする。

・**目的：**仕事の内容紹介にとどまらない「個人の素顔」を発信することで、市民・移住者・関係人口・観光客の間に「人の発見」と「コミュニケーションのきっかけ」を提供するとともに、取材対象者及び市民のシビックプライド醸成と、移住検討者への親近感・安心感の提供を目指します。

◎実施内容

日　　程	実施項目・作業項目
	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。

	【役割分担】全体企画・インタビュー・執筆・SNS 発信：川下真理 企画補助・撮影・カード制作・ギャラリー展示：佐藤智明 【取材対象】沼津在住で活き活き暮らし、活動している人・移住者（外国人を含む） 【発信方法】 ・Instagram や Facebook 配信 ・取材対象者にも SNS での発信を促す ・当方から取材対象者に名刺サイズの「ポートレート・カード★」をお渡しして、家族や友人知人に話題の１つとして渡してもらうことで、この取組に巻き込む ・市内ギャラリーでの展示 ★ポートレートカード：当取組のロゴ、写真、文章から創作したその人を表すキャッチコピー、SNS の QR コードを記載 【実施内容・スケジュール】 ・企画、調整事務：年間計画の立案、本取組みパートナー（撮影・カードデザイン）との最終打合せ、取材候補者の選定とアポイント調整 ・ロゴ制作 ・実施：インタビュー及び撮影＝2 名／日　（5・7・9・11・1 月） SNS 配信＝6・7・8・9・10・11・12・１・2・3 月 執筆および写真調整（各 4 日間程度）および ポートレートカード制作（2 日）＝取材と取材の間に実施 ギャラリー展示（3 月）＝制作（3 日）・展示および撤収作業（4 日） 【次年度以降に継続した場合（企画案）】 ・更に 10 名分の制作と発信 ・ウェブサイトを開設し、アーカイブを蓄積していく ・沼津市内のギャラリー（仮：まちかどアートギャラリー、チャトラコーヒーなど）で展示する

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載してください。

「沼津で暮らす『人』・愉しい日常」に焦点を当てた発信で、
「仕事で会うこの人、厳しそうだと思っていたけど、実はこんなこんな一面があるんだ」
「沼津にそんなきっかけ移住して、沼津でこんな暮らしをしているんだ」
「いつも行く店の人、自分と同じことに興味を持っているんだ。今度話しかけてみよう」など、「新たな発見」と「コミュニケーションの種」を、「沼津に暮らす人」「沼津への旅行者」「移住先を探している人」達に提供できる。

それにより、

・取材された人達自身や市民のシビックプライドが向上する。
・発信を見た移住検討者が沼津の人達の魅力や生活を知ることで、心理的ハードル低下の効果が期待できる。
・沼津を構成している「人」達の想いを可視化し共有し、市民同士や市民と地域外に住む人達、関係人口が刺激をしあうことで、沼津の魅力が更に醸成されていく。
・地域の人的資源の蓄積と可視化にもつながり、特に高齢により消えてしまう想いを残していくことができる。「沼津にはこんな人がいて、次の世代につながるこんな貢献をしてくれたんだ」という、世代から世代へ想いを繋ぐことができる。

成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。 ①コンテンツ制作の完遂：年間合計 10 名以上の取材実施と記事公開 ②取材対象者による「自分事化」 ③SNS 投稿に対する反応 ④まちなかのギャラリーでの展示に対する反応	指標の検証方法	※左記指標の検証方法を記載してください。 ①活動報告書の作成： 取材した 10 名のリストと、公開した記事の URL またはキャプチャ画面の提示。 ②ポートレート・カードの配布数 ②アンケート・ヒアリング： 事業終了後、取材対象者へ「活動にポジティブな変化があったか」の聞き取り調査を行い、その回答を実績報告書にまとめる。 ③ SNS インサイトの分析：Instagram 等の標準機能（インサイト）から、「リーチ数」「保存数」「アクション実行数」のデータを抽出。 ④ギャラリーでの訪問数

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

社会的必要性	※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。 まちの「人」の魅力を可視化することは、不特定多数の住民の沼津愛やシビックプライド向上に寄与する。 また、移住や 2 拠点先の地域を探している人達に、「沼津の人」へのタッチポイントを提供することで、沼津の人の魅力を「認知」「興味」を持ってもらい、視察旅行やお試し移住の心理的ハードルを下げる効果がある。
地域性	※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。 沼津の最大の資源である「人」を活用し、沼津での生活者、地元の店や移住者を巻き込みながら、沼津人の地元愛を醸成するとともに、地域の実情に即した課題解決（関係人口創出）を目指すことができる。
独創性	※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。 単なる仕事・施設・イベント紹介ではなく、徹底的に「人としての魅力・人生観」に特化したコンテンツの制作と発信、地域浸透。 静岡市在住の申請者自身が、沼津をはじめとする静岡県東部の企業や人と仕事をしていることや、東京から U ターンした人撮影担当など、沼津市の外からの視座・視点ならではの着眼点によるコンテンツの制作は、新規性のある取り組みといえる。
実現性	※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。 申請者自身のインタビュー取材・番組制作・記事制作といった職務経験を活かし、企画および資金やスケジュールなど、効率的で実行可能な計画を作成し、実施する。
発展性	※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。 次年度以降、取材対象の拡大や Web サイト化、移住者支援企業（例：いろはぴ）やまちづくり関係の各種組織や経営体などを巻き込み、身近な面白い人、愉しんでいる人、沼津の礎になった人などの取材対象者の人選および発信・巻き込み活動を行う。

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または 2 回目の応募で、助成の継続（最大 3 年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

次年度は、

・取材対象者を 10 人以上とする。
・専用 WEB サイト「沼津の人ポートレート」を開設、「人」という人的資源を蓄積する。
・インターネットをやらない高齢の取材対象者も見られるように、ZINE を制作する。
・蓄積した「人」コンテンツを、移住定住を促進する企業（例：(株)いろはぴ）とウェブ上で相互リンクする、協働でイベントを開催するなど、相乗効果を目指す。
・取材された人たちの得意を活かしたイベントを企画、開催する。
・「人」が一定数になったら、沼津の人の日常、愉しみ方などの傾向をを分析し、まちづくり、不動産、観光、飲食、福祉など、沼津生活者の生きた感覚・想い、ニーズを提供する。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。